



ときめきの瞬間



誰でもすぐに楽しめる

11月29日(土)

“全ての人を楽しめるスポーツ”をコンセプトとした軽スポーツ「キンボール」の体験講習会が駄知体育館で開かれました。キンボールは、直径122センチの大きなボールを使い、3チームに分かれてプレーするユニークなスポーツ。この日、未就園児から80歳代までの約25人の市民が、初めて体験するゲームに楽しく汗を流し、最後は笑顔で握手を交わしました。



お世話になった駅に恩返し

12月1日(月)

東濃特別支援学校の高等部3年生と土岐青年会議所のメンバーら合わせて57人が、土岐市駅前の清掃活動を行いました。同校では、これまでお世話になった駅への感謝の気持ちを込めて毎年3年生が清掃活動を行っています。今回は、日頃から交流のある青年会議所のメンバーも参加して行われました。生徒らは、ほうきやデッキブラシなどを使い、隅々まで気を配りながら一生懸命に取り組みました。



長い間、ありがとうございました

12月5日(金)

26年間にわたり市民大学講座の講師を務めてきた糸魚川淳二さん(名古屋大学名誉教授)の最終講義がセラトピア土岐で行われました。講義では、ヒトツバタゴや市内で発見されたパレオパラドキシアの化石などを市民ら約50人に分かりやすく解説しました。

糸魚川さんは最後に「私は75歳まで働いたが、70歳で辞めて後は自分の好きなことをした方がいい。皆さん、またどこかでお会いしましょう」とあいさつ。会場からは惜しみない拍手が送られました。



豊かな心を育む

12月15日(月)

土岐ライオンズクラブが土岐津小学校付属幼稚園を訪問し、「土岐ライオンズ文庫」として絵本16冊をプレゼントしました。この絵本寄贈事業は、青少年の育成・教育支援の一環として平成19年から毎年行われています。本年度は市内全ての幼稚園・保育園へ合計320冊の絵本が贈られました。同クラブの会長は「大事に読んで」「たくさん読んでね」と声を掛けながら園児たちに絵本を手渡しました。

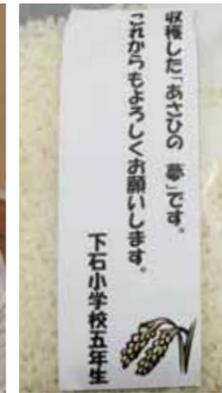


ありがとうの気持ちをお米に込めて

12月4日(木)

日頃お世話になっている方たちを招いて感謝の気持ちを伝える「下石っ子収穫祭」が下石小学校で行われました。収穫祭では5年生52人が、4月から地域の農家の方の指導を受けて育ててきたお米を、下石シニアクラブや旧婦人会の方、保護者などおよそ100人に振る舞いました。

最後に児童の代表が「いつも見守ってくれてありがとうございます。これからも僕たちの成長を見守ってください」と感謝の気持ちを伝え、収穫したばかりのお米をプレゼントしました。



文学と向き合う

12月7日(日)

第13回土岐市文芸祭表彰式が文化プラザで行われました。各部門に市内外から3,530点の応募があり、上位に入賞した18人が表彰を受けました。

小畑運営委員長は「あらゆる芸術の基になるのが文学であると思います。文学の向上が、土岐市民の文化の底上げにつながります。今後も人間力を磨いて文学と向き合い、より良いものを創作してください」と激励しました。



一般の部〈敬称略〉

賞名/部門	文芸祭賞	市長賞	教育長賞
現代詩	中原眞理夫 (本巣市)	田中和江 (飛騨市)	安藤よ志子 (多治見市)
短歌	前川泰信 (可児市)	川瀬敏枝 (揖斐川町)	中野善孝 (多治見市)
俳句	宮武玲子 (恵那市)	坂崎八千代 (多治見市)	大脇和生 (下石町)
川柳	成瀬雅子 (大垣市)	中野善孝 (多治見市)	三浦一郎 (多治見市)
狂俳	後藤溪秋 (八百津町)	井口洋輔 (泉町)	多和田瑠璃 (各務原市)

小中学生の部〈敬称略〉

	現代詩	短歌	俳句
優秀賞	佐藤舞香 (濃南中1年)	塚本康平 (駄知中2年)	金丸卓矢 (泉小6年)
	林史樹 (駄知中1年)	五月女暉 (泉西小6年)	市川由樹 (泉小5年)
	佐橋美音 (駄知中1年)	鈴木日和 (泉小4年)	奥村沙綾 (西陵中3年)